

JF-IETF-RFC4730

キー押下に関するステイミュラスな 通知 (KPML) のための SIP イベントパッケージ

(A Session Initiation Protocol (SIP)
Event Package for
Key Press Stimulus (KPML))

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

| | |
|---------------------|---|
| <参考> | 4 |
| 1. 標準の概要 | 5 |
| 2. 本標準で規定する内容 | 5 |

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC4730に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

| 版数 | 制定日 | 改版内容 |
|---------|-----------------|------|
| 第 1.0 版 | 2009 年 5 月 27 日 | 制定 |

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC2119, RFC2833, RFC3023, RFC3261, RFC3265, RFC3406, RFC3435, RFC3525

RFC3688, RFC4234, RFC4235, RFC4662, RFC4722

W3C 勧告: REC-xmlschema-1-20010502, REC-xml-20001006

IEEE 標準: 1003.1 (2001)

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は DTMF(Dual Tone Multi-Frequency)信号の監視を可能にし、KPML(Key Press Markup Language)と称する XML 文書を用いる SIP イベントパッケージ"kpml"を定義する。この kpml イベントパッケージは"A Framework for Application Interaction in the Session Initiation Protocol (SIP)"*という表題の文書で定義される原則に一致するアプリケーションをサポートすることに利用可能である。本イベントパッケージは SUBSCRIBE メッセージを用いて、SIP UA の画面入力操作無しで入力されたボタン押下(DTMF トーン)情報を取得するフィルター規定を記述し、定義する XML 文書を可能にする。(また)本イベントパッケージは NOTIFY メッセージを用いて、アプリケーションサーバに対し、フィルター規定に整合する取得したボタン押下情報をレポートする XML 文書を可能にする。本パッケージの対象範囲は付加的なボタン押下または話中ボタン押下 (契機)を収集することである。

*インターネットドラフト文書 : draft-ietf-sipping-app-interaction-framework

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC4730 : 「A Session Initiation Protocol (SIP) Event Package for Key Press Stimulus (KPML)」